

浜岡原子力発電所4号機 給水系配管支持構造物の施工不良について(続報)

2012年9月24日

当社は、浜岡原子力発電所4号機の給水系配管を支持する構造物(以下、「支持構造物」という。)のうち、施工図に記載のある支持構造物の一部(以下、「ストッパー」という。)が取り付けられていないところがあることを確認しました。(2012年9月14日お知らせ済み)

当該の支持構造物が施工図と異なり、発電所建設時に実施した給水系配管の応力解析*の条件と異なっていることから、現在の支持構造物の状態に基づく応力解析を実施することとしました。このため、給水系配管の応力解析に必要な範囲の支持構造物の取り付け状態を調査した結果、支持構造物は9月14日にお知らせした箇所以外は施工図どおりであることを確認しました。

また、この調査において1箇所の支持構造物の溶接部の一部に割れが発生していることを確認しました。

■ 配管の応力解析の結果について

1箇所の支持構造物にストッパーが取り付けしていない状態および割れの発生している支持構造物が全く機能しない状態を仮定し、配管の応力解析をおこなった結果、配管に生じる応力は許容応力を下回り、健全性が確保されていることを確認しました。

■ 今後の対応について

ストッパーが取り付けしていなかった支持構造物について、ストッパーの溶接施工跡が無いことから、発電所建設時に取り付けを忘れたものと推定しています。今後、取り付け忘れの原因について調査し、必要な対策を講じてまいります。

また、原因調査結果等に基づき、3～5号機の支持構造物について必要な点検を実施してまいります。

なお、溶接部の一部に割れが発生している支持構造物については、原因を調査し、適切な処置を講じてまいります。

* 配管に支持構造物が取り付けられた状態で、自重、熱膨張、地震等による荷重が作用した場合に配管に生じる変位や応力等を算出するものです。

以上

